

希望シフトの自動反映で転記ミスもなく、希望シフト収集率も改善 毎月、深夜2時間×7日間もの時間を費やしていた シフト作成を大幅短縮し、店主の負担軽減に貢献

小田急線相模大野駅から徒歩2分の「麺屋鼎(かなえ)」は、ランチタイムは4回転、夜も深夜まで地元の老若男女で満席となる繁盛店だ。「Airシフト」の導入により営業終了後の深夜に行っていたシフト作成時間が大幅に短縮され、シフト管理ミスも解消された。

導入店

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス
麺屋鼎 × **AirSHIFT**



毎月20日に翌月分の希望シフトを収集。希望シフトが自動反映されたシフト管理画面で仮のシフト表を作成し、プリントアウトしてチェック。人員不足にはチャットでの出勤依頼で調整する。確定シフトはスタッフ用シフト管理アプリの「シフトボード」に送信されるので漏れなく確実に伝わるのが「Airシフト」の利点だ。



相模大野駅から徒歩2分に立地する「麺屋鼎」は、路地を曲がってすぐの大きな看板が目印だ。オープンキッチンとL字型のカウンターが扉の外からも見渡せるため、深夜の時間帯も女性一人でも入りやすく、店主夫婦とスタッフの笑顔に迎えられるアットホームな雰囲気だ。ていねいな仕込みで生まれるスープが自慢のラーメンはもちろん、地元相模原のイベントにも積極的に参加し、午後の時間帯に200円の「子どもラーメン」を提供するなど、地元のつながりを大切にしている姿勢が多くの常連客をつかんでいる。

MENU

7種野菜ラーメン
870円鼎ラーメン
950円ねぎラーメン
870円チャーシュー丼
380円

650円のラーメンほか、油そば、つけ麺などメニューは30種。豚骨スープは豚丸骨(げんこつ)のアクや余分な脂をていねいに取り除きながら11時間炊いたメインスープに背がらを炊いたスープを加えて濃度を調整。醤油だれと鶏油を加えたスープはコク深く、あっさりとした味わいで中細麺によく絡む。野菜たっぷりの7種野菜ラーメンは特に女性に好評だ。



SHOP DATA

麺屋鼎
神奈川県相模原市南区
相模大野3-9-3
営業日・土曜 11時～翌2時
日曜・祝日 11時～24時
無休

導入して実感!

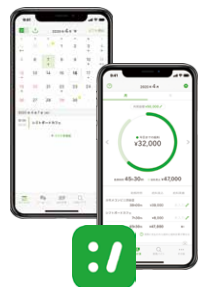
Good

『Airシフト』のここが

- スタッフの『シフトボード』から送られる希望シフトが、管理画面に自動反映されるため、転記の手間や転記ミスがなく、シフト作成時間が大幅に短縮できる
- アプリを使っていつでもどこでもスタッフとの連絡やシフト表の確認ができる
- 管理画面にあるチャット機能で、出勤依頼やスタッフからの欠勤申請などのやりとりがスムーズにできる
- 最大2か月(利用開始月と翌月)は無料体験期間なので、初期費用ゼロで導入できる

『シフトボード』と連携して
スタッフも嬉しい『Airシフト』社員
土屋 裕吾さん

もともと「麺屋鼎」が大好きで、今年の1月から正社員として働いています。以前働いていたところでは記入表に希望シフトを書いて提出し、出来上がったシフト表も手渡しされていました。紙なので紛失の心配が常にあり、また転記ミスで希望日とシフトが違っていても、控えないため、確認できないなどの不都合がありましたが、「Airシフト」では決してそんな事態は起こらないので安心感があります。提出日を知らせるリマインダー機能があるので、忙しくても希望シフト提出を忘れることがありませんし、提出も履歴から追加できるので簡単です。また確定シフトがスマホのカレンダーと同期されるので、スケジュールがひと目で分かり、助かっています。

スタッフ用シフト管理アプリ
『シフトボード』

スタッフ用シフト管理アプリとして、圧倒的な人気の無料アプリで、ダウンロード数は600万以上。カレンダー表示でシフト日がひと目でわかり、時給を入力すると毎月の給料を自動計算。交通費や深夜時給などの設定をしておけば、収入計画も立てられる。「Airシフト」との連携は、店側が用意したQRコードを「シフトボード」から読み取るだけ。同店では全員が「シフトボード」から希望を提出し、確定シフトを受け取る。シンプルなコミュニケーションで希望を伝えられるので、スタッフにも好評だ。

安心のサポート体制

アカウント登録後は、店長とスタッフそれぞれに、わかりやすい紙のマニュアルが送付される。また、専用ヘルプデスクが開設されており、操作に困ったときには気軽に相談できる体制がとられている。

問い合わせ先
Airシフトヘルプデスク ☎0120-759-225
(平日 10:00～19:00)

麺屋鼎
代表取締役
山岡 裕章氏ミスが多く非効率な深夜作業を
『Airシフト』が改善

「Airシフト」の導入は今年1月から。それまでの紙によるシフト作成が体力的にも精神的にも負担が大きく、限界を感じていたことが動機となった。「還暦近い私がシフト作成で四苦八苦しているのを横で見ていた娘から、『もっと便利な方法があるよ』と言われてまして…。シフト管理システムをネット検索した中に「Airシフト」を見つけました。他社と比べて操作が簡単で、しかもスマホアプリでいつでもどこでも管理できる点が導入の決め手となりました」と山岡氏。導入以前は、営業終了後の深夜3時から明け方5時までをシフト作成に費やし、完成まで1週間ほど掛かっていたという。同店は毎月月初めのシフト更新に合わせて前月20日にスタッフ全員から翌月の希望シフトを収集していたが、すべての希望シフトが期日までに集まることはなかったという。

「20日に希望シフトが揃うことはまずなくて、シフト表がつくれず困っていました。提出済みのスタッフを優先してシフト作成するのですが、3日ぎりぎりに完成ということもしばしばで、翌月初めのシフトの子には個別に連絡していました。シフト作成に充てる営業終了後の深夜は疲労もあり、間違えや転記ミスなど、思えば非常に効率が悪かったですね」

「Airシフト」導入後は、スタッフから送られてくる希望シフトがPC画面に自動反映されるため転記ミスがなくなり、スタッフに提出日を知らせるリマインダー機能で提出率そのものも向上した。そのため作成にかかる時間はほぼ半減したという。

アプリを活用することで
スムーズなシフト調整を実現

「作成時間が短縮されミスがなくなったうえ、リマインド機能やチャット機能のおかげで希望シフトを提出していない子に催促する手間が省け、出勤依頼調整もスムーズになりました」と山岡氏は語る。アルバイトの学生たちは学校と部活、試験などで何かと忙しく、これまで個別に連絡してもすぐに返事が来なかったり、こちらが業務中で連絡に気付かなかったりすることも多々あった。たとえばチャットアプリで何度もやりとりを重ねるなかで、確定シフトがスタッフに正しく伝わっていないことも。実際に、店内に貼りだしたシフト表を見て初めて自分のシフトを知るスタッフもいたという。

そこで山岡氏は、スタッフ全員にスタッフ用シフト管理アプリ「シフトボード」を利用してほしい、自身もスマホに「Airシフト」アプリを入れることで、PCが使えない業務中でもスタッフとの連絡や確認をスムーズにできるようにした。「Airシフト」アプリならシフト調整依頼があってもすぐに対応でき、確定すれば自動でシフト表に反映されるため、スタッフとの連絡ミスは皆無になったそうだ。

人気店店主の多忙な毎日を支援する「Airシフト」は、山岡氏にとって頼もしい片腕となっている。



シフトは月1回更新する。翌月の希望シフトが集まり次第PCでシフトを作成し、営業前にスマホのアプリで確認するのが店主山岡氏の日課だ。